

2. 町の現状把握

調査結果の概要

- ・人口や産業、観光、土地利用、土砂災害の危険箇所、住民意向などについて、既存資料や意見聴取による調査を行い、町の現状を把握した。
- ・本町は過疎化が進む典型的な中山間地である。人口は、町制度が施行された昭和32年から3年後の昭和35年に11,250人、その後減少を続け、平成25年には5,985人となり、減少率は46.8%となっている。高齢化率は約31%である。若年層の流出による生産年齢層の減少が主な要因となっている。
- ・町面積の80%余りを占める森林は、町の主産業である林業の重要な資源となっているが、林業経営の収益性の低下、従事者の高齢化等により、健全な森林維持が困難になっている。
- ・町の中央を東西方向に流れる鮫川に注ぐ支流が発達しており、この川沿いに土石流危険渓流箇所が数多く分布している。特にこれが多い仙石の主要地方道いわき石川線に沿って、土砂災害警戒区域が集中して指定されている。
- ・一方、平坦な地形のまち中心部には、役場をはじめ、公民館、福祉施設、診療所、幼稚園、学校、体育館、食堂や店舗が、国道と県道に沿って集積しており、生活環境が比較的整っている。
- ・御齊所街道として知られるこの道には、かつて問屋、旅籠屋、茶屋が建ち並んでいた。今も残る立派な酒蔵や風情のある古民家は、当時の歴史を感じさせる。さらに少し進むと、農地と農家、背後の斜面林からなる里山の風景が広がっている。こうしたふるさとの景観は、震災を乗り越え、美しい日本の原風景を今に伝えている。
- ・本町は、日本の中山間地にみられる典型的な過疎化、山がちであるがゆえの土砂災害の危険性など大きな問題を抱えている。しかし、まち中心部の風情のある暮らし、まち周辺の恵まれた自然環境が、今の本町の良さを支える柱となっていると考えられる。



昭和45年頃（左）と現在（右）のまち中心部の様子

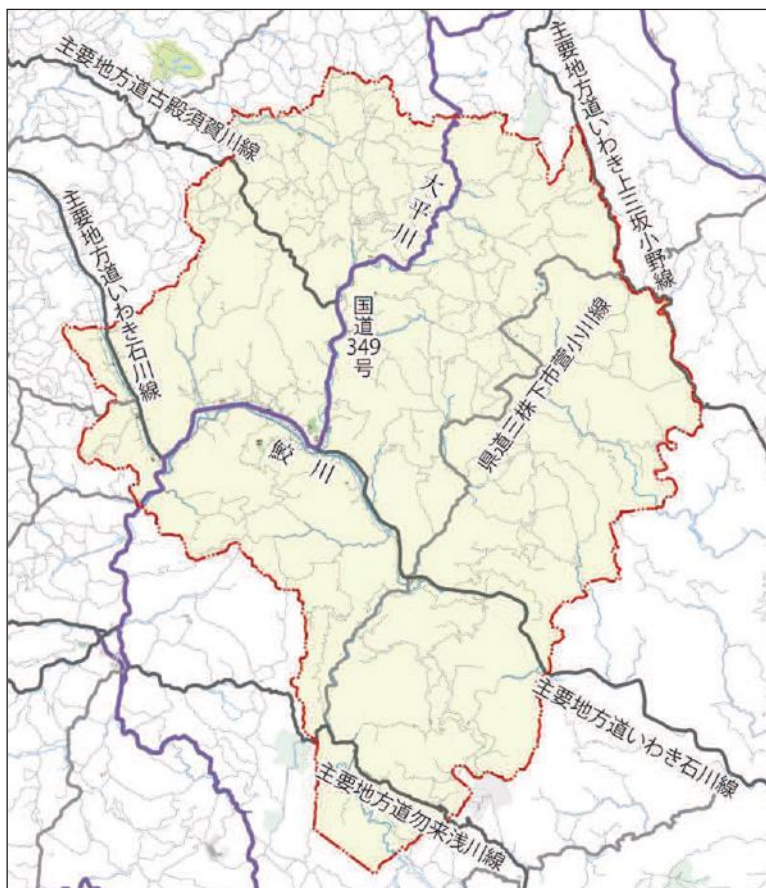
(1) 位置と概況

- ・古殿町は、東はいわき市、西は石川町・鮫川村、北は平田村に隣接している。
- ・町は東西 15.5 km、南北 19.5 km に渡り、総面積 163.47 k㎡を有している。
- ・町の約 80%が山林で占められており、起伏の多い中山間地である。
- ・町のほぼ中央を東西に鮫川が流れ、その支流である大平川沿いに平坦地または緩やかな傾斜地が細長く広がり、耕地や宅地が集中している。
- ・町には鉄道はなく、東西南北に縦断する国道 349 号と主要地方道いわき石川線の基幹道路の他、県道 5 路線があり、町の重要な交通ネットワークを形成している。

■古殿町位置図



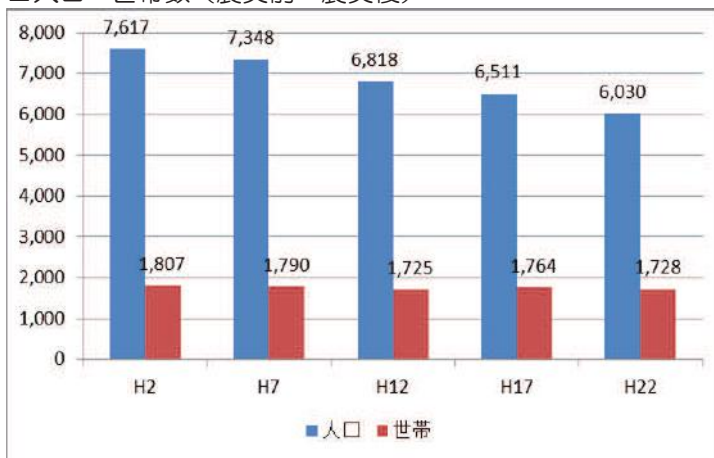
■古殿町全体図



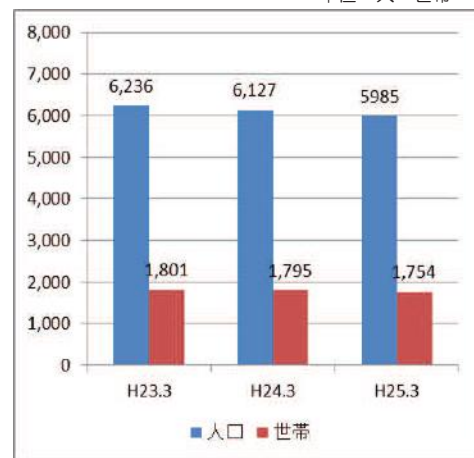
(2) 人口

- ・人口及び世帯数は平成2年から平成25年にかけて減少傾向にある。
 - ・震災後の平成23年3月から平成25年3月の2年間は、47世帯、251人減少している。
 - ・行政区別では、竹貫（60人減）、下松川（47人減）、下山上（41人減）の人口減少が大きい。
 - ・年齢別人口は、昭和60年時点では65歳以上の割合は14%であったが、平成22年には31%と65歳以上の割合が年々増えており、高齢化が進んでいる。
- （参考 65歳以上の割合：福島県25.0%、全国23.1%）

■人口・世帯数（震災前・震災後）



単位：人・世帯



資料：国勢調査（震災前）、住民基本台帳（震災後）

■行政区別人口

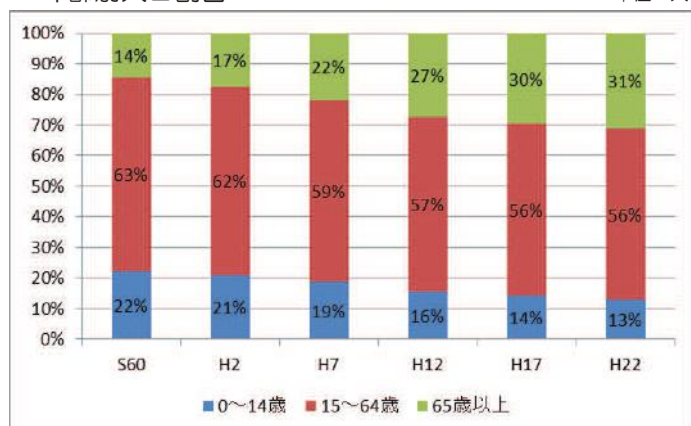
単位：人

行政区名	H23.2.28	H25.5.31	増減
下山上	624	583	▲ 41
上山上	642	610	▲ 32
論田	471	447	▲ 24
大久田	559	525	▲ 34
下松川	979	932	▲ 47
上松川	832	822	▲ 10
竹貫	833	773	▲ 60
田口	536	513	▲ 23
鎌田	503	485	▲ 18
仙石	281	272	▲ 9
合計	6,260	5,962	▲ 298

資料：古殿町集計資料

■年齢別人口割合

単位：人

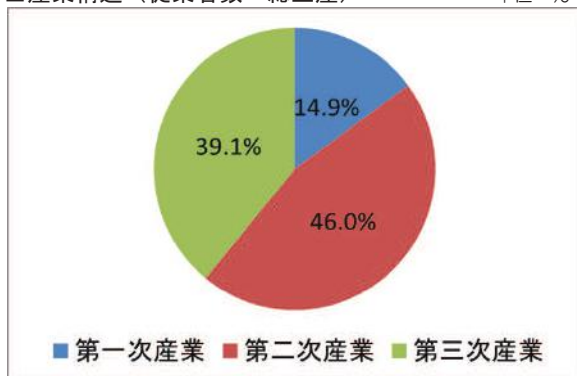


資料：国勢調査報告

(3) 産業

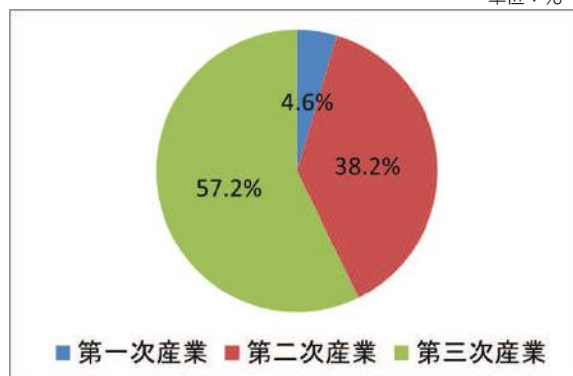
- ・ 従業者数においては第二次産業が 46.0%と最も多い。(県：30.1%、全国：25.2%)
- ・ 総生産においては第三次産業が 57.2%と半数以上を占めている。(県：66.4%)
- ・ 第一次産業から第三次産業まで全体的に従業者数は年々減少している。
- ・ 総生産額は、第一次産業と第三次産業は横ばいで推移しており、第二次産業は平成 19 年以降、増加傾向が見られる。
- ・ 町全体の事業所数及び従業者数は、平成 3 年以降減少傾向にあり、震災後の平成 24 年には平成 3 年の約 6 割までに減少している。
- ・ 震災後、町に立地していたイセ食品(株) (企業全体従業者数 671 人 (H25.1)) の福島工場 (当時従業者数約 60 人) が閉鎖され、現在の主な立地企業は 8 社であり、ほとんどが製造業である。
- ・ 一方、町内の 2 件の企業が、日本大震災復興特別区域法に基づく「ふくしま産業復興投資促進特区」に認定されている (2012 年 4 月 20 日認定)。

■ 産業構造 (従業者数・総生産) 単位：%



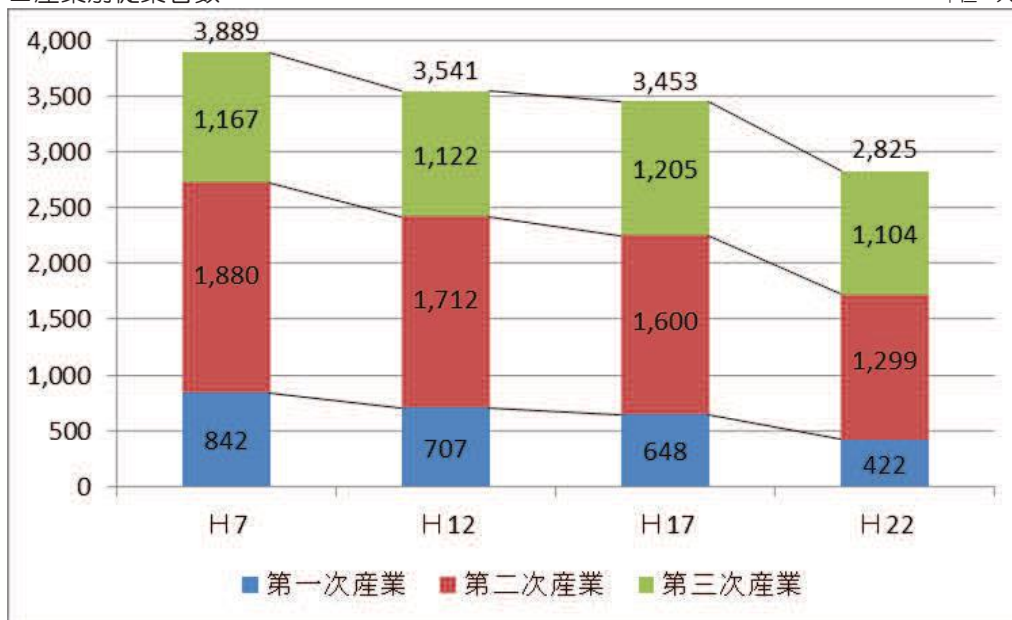
資料：国勢調査 (H22)

単位：%



資料：福島県企画調整部統計分析課「福島県市町村民経済計算年報」(H22)

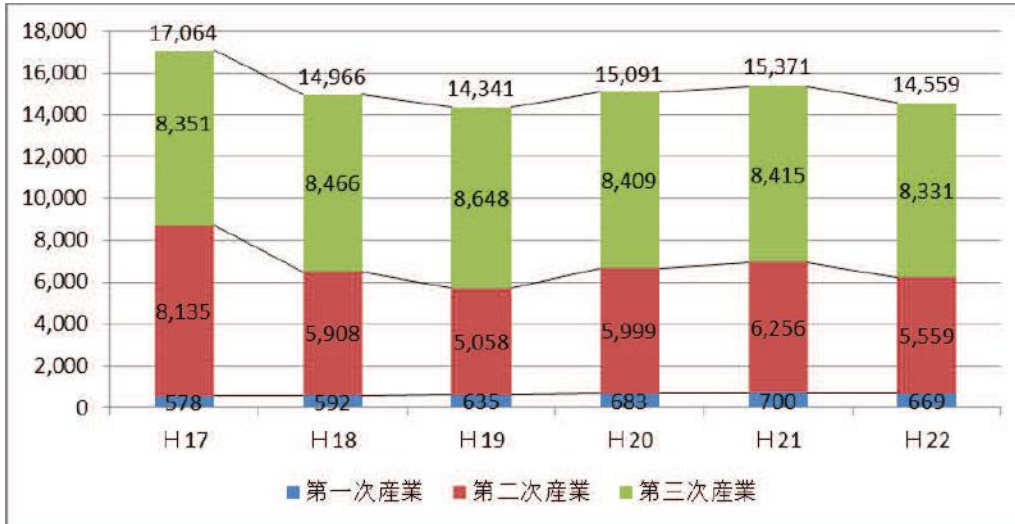
■ 産業別従業者数 単位：人



資料：国勢調査

■産業別総生産

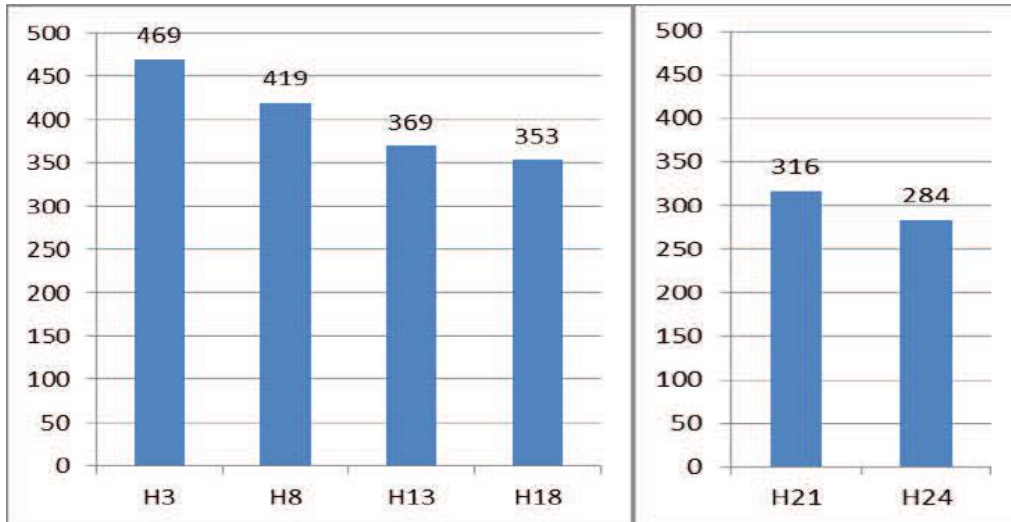
単位：百万円



資料：福島県企画調整部統計分析課「福島県市町村民経済計算年報」

■事業所数

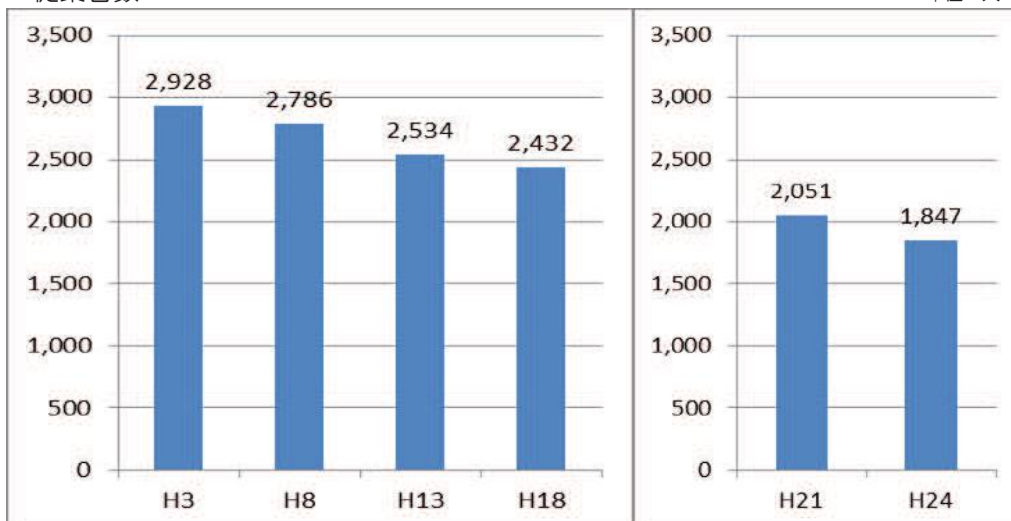
単位：事業所



資料：総務省統計局「事業所・企業統計調査結果報告」(H3~H18)、平成24年経済センサス活動調査 (H21~H24)

■従業者数

単位：人



資料：総務省統計局「事業所・企業統計調査結果報告」(H3~H18)、平成24年経済センサス活動調査 (H21~H24)

■主な立地企業

※網掛けは「ふくしま産業復興投資促進特区」

産業分類	会社名	資本金	町内の事業所	住所	業務内容	従業員数
製造業 (工業)	アスター工業株式会社	1,000万円		田口字寺前130-1	・AV・OA関連部品及び機器の製造販売 ・加工機械及び測定機器等の開発と製造販売	156人 (平成24年4月1日時点)
	ジェーピーシー株式会社	4,000万円	福島工場	竹貫字千足1	・ディレイライン、パルストランス、LCフィルタ、アクティブフィルタ、DC-DCコンバータ、パルスユニット、機能モジュール、インダクタ、その他、特殊トランス等の開発・設計・製造・販売	企業全体：56人 うち福島工場：27人
	株式会社富士通テレコムネットワークス福島	10,00万円		松川字大作50	・電源機器などの製造	184人
	株式会社宇野製作所	3,000万円	FD工場	松川字西渡1	・パスポート、紙幣の自動製造化システム及び各種事務用品や印刷物の製本・製造の自動化システムの開発・製造・販売。	製造業 (工業)
製造業 (縫製業)	有限会社岡部縫製			山上字仮宿54-1	・綿シャツのミシン縫製、アイロン	70人
	株式会社藤美屋古殿アネックス			松川字大作247	・革製品(カバン)類製造	企業全体 38人 当事業所 20人
製造業(食品加工業)	アクツコンニャク株式会社			竹貫字上町23	・こんにゃく、ところ天の製造	82人
小売業	株式会社グラントマト	4,800万円	アグリサポート古殿店	田口字黒長14-1	・生活消費材・農業生産資材の店舗販売及び訪問販売	企業全体：250人



町の特産品、古殿こんにゃく(アクツコンニャク株式会社製造)



農業生産資材の販売を行う「株式会社グラントマト」

出典：「Google Map」

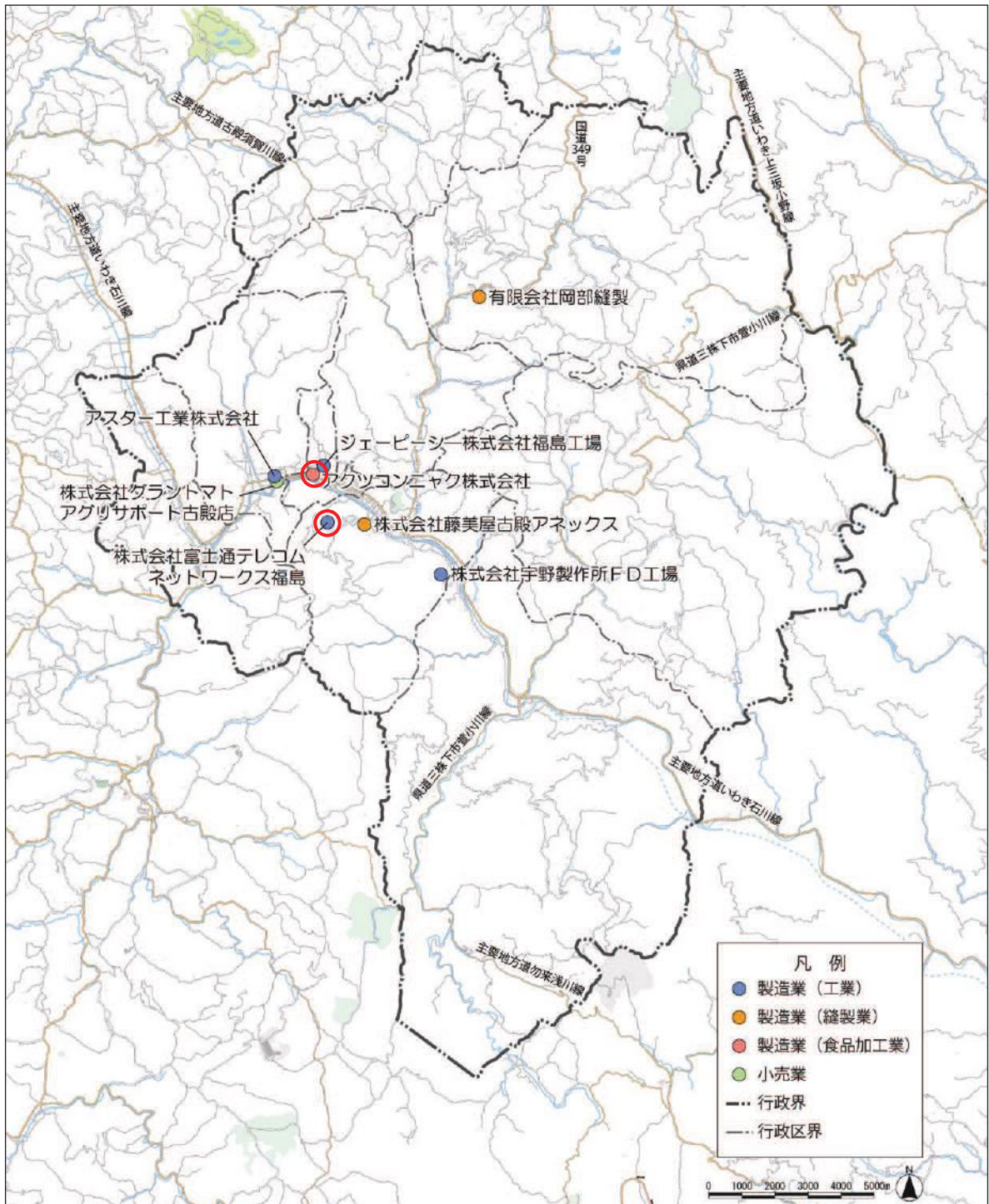


比較的企業が集まっている国道 349 号田口附近

出典：「Google Map」

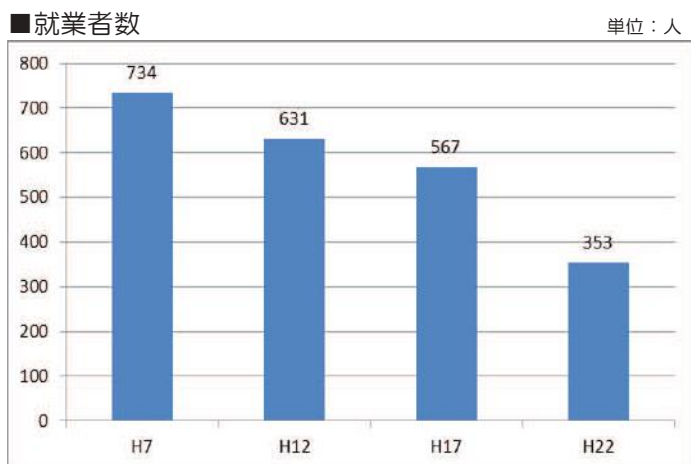
■立地企業位置図

※赤色○印は「ふくしま産業復興投資促進特区」

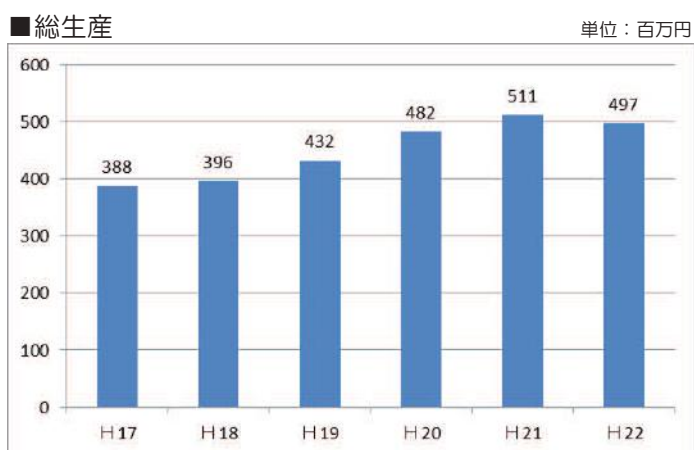


1) 農業（震災前）

- ・ 農業の就業者数は年々減少しており、平成 7 年には 734 人であったが、平成 22 年には 353 人と半数以下になっている。
- ・ 総生産額については、平成 22 年には少し減少したものの平成 17 年以降は増加傾向にある。



資料：国勢調査



資料：福島県企画調整部統計分析課「福島県市町村民経済計算年報」



田植えの様子



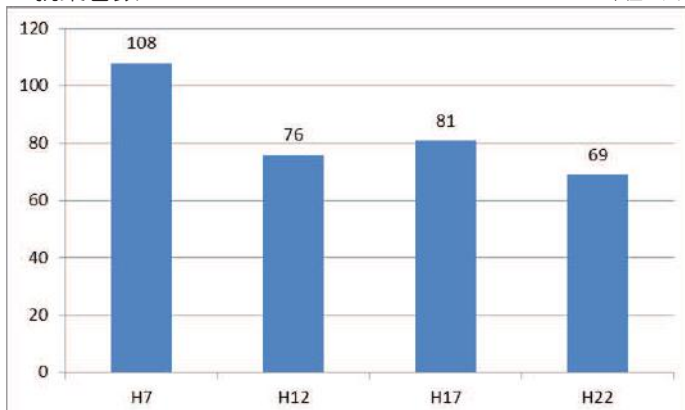
里山の様子

2) 林業（震災前）

- ・ 林業の就業者数は平成7年には108人であったが、平成22年には69人に減少している。
- ・ 総生産額については平成19年をピークに減少傾向にある。
- ・ 林業に係る主な企業として、3社が立地している。

■ 就業者数

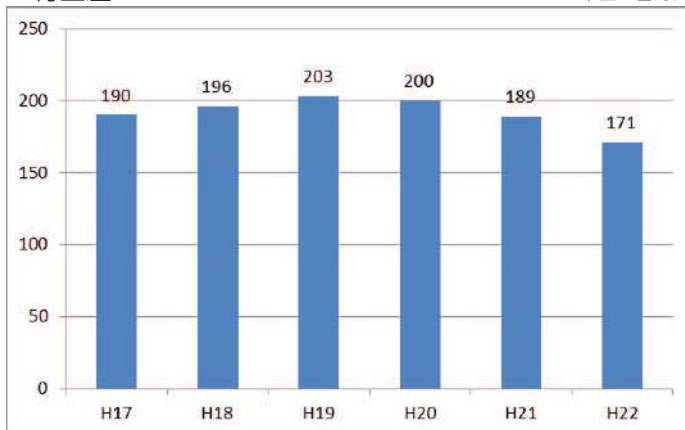
単位：人



資料：国勢調査

■ 総生産

単位：百万円



資料：福島県企画調整部統計分析課「福島県市町村民経済計算年報」



間伐をする様子



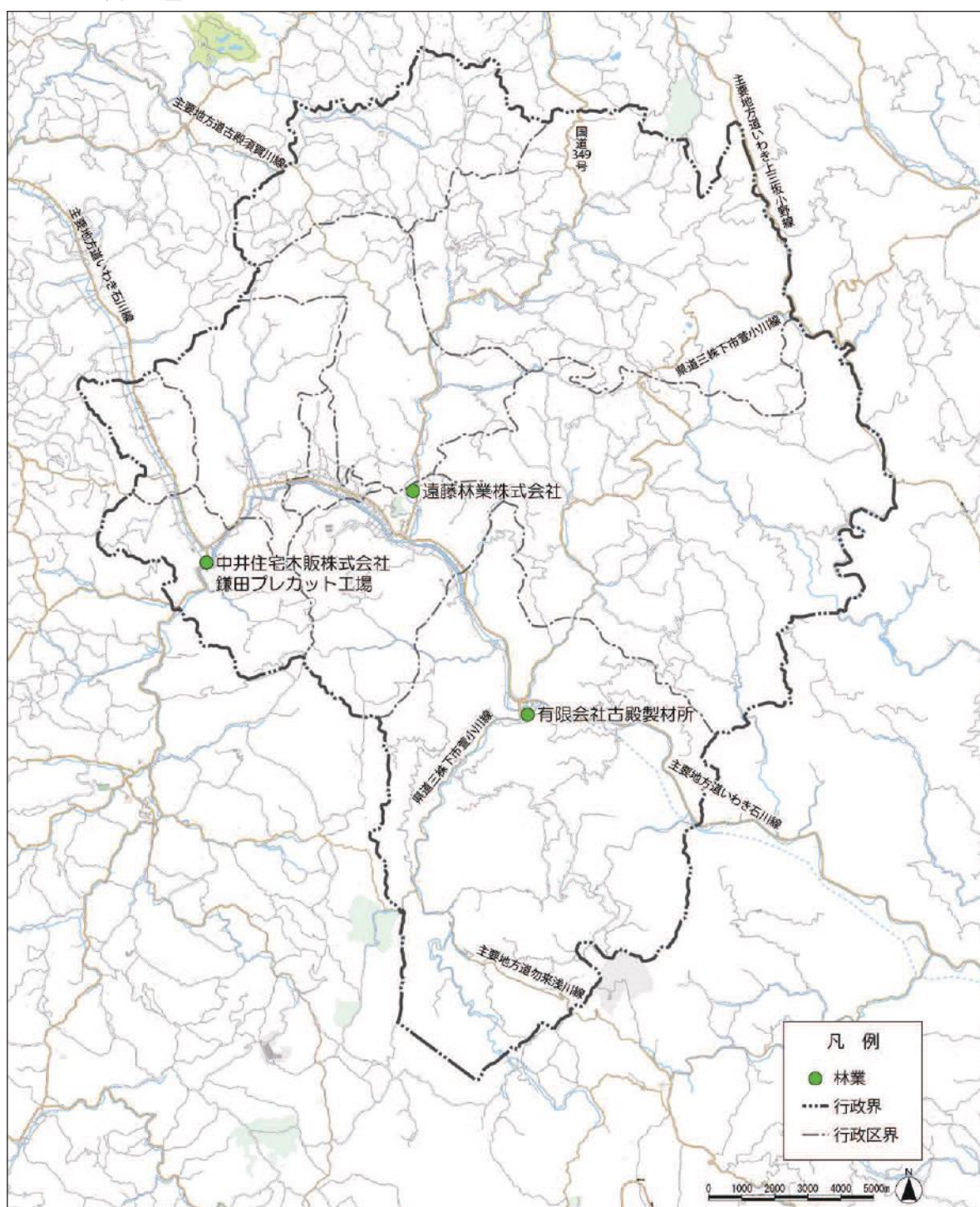
製材所の様子（遠藤林道株式会社）

出典：「Google Map」

■林業に係る主な立地企業

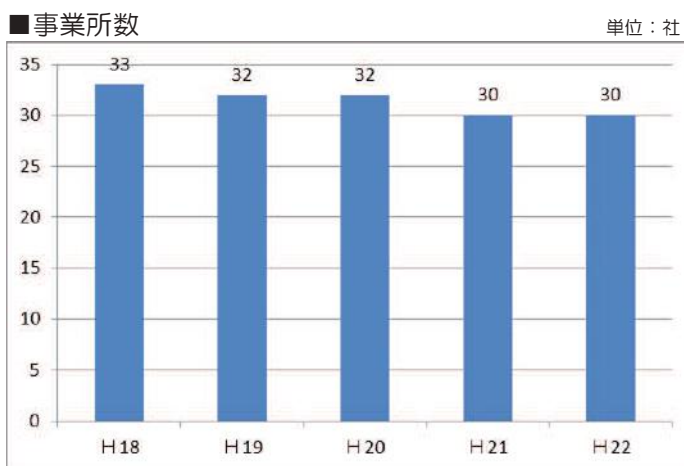
会社名	資本金	町内の事業所	住所	業務内容	従業員数
遠藤林業株式会社	1,000万円		松川字寺作 45-1	・土木資材用木材の加工 ・一般製材業 ・木材チップ製造業	本社：75人 企業全体：136人
有限会社古殿製材所			松川字和久 46	・一枚板、木工製品の製造販売	
中井住宅木販株式会社	2,000万円	鎌田プレカット工場	鎌田字田中田 30	・プレカット加工工場（一般木造軸組工法の建材をコンピュータ制御により機械加工）	企業全体 44人 （平成 22 年 5 月時点）

■立地企業位置図

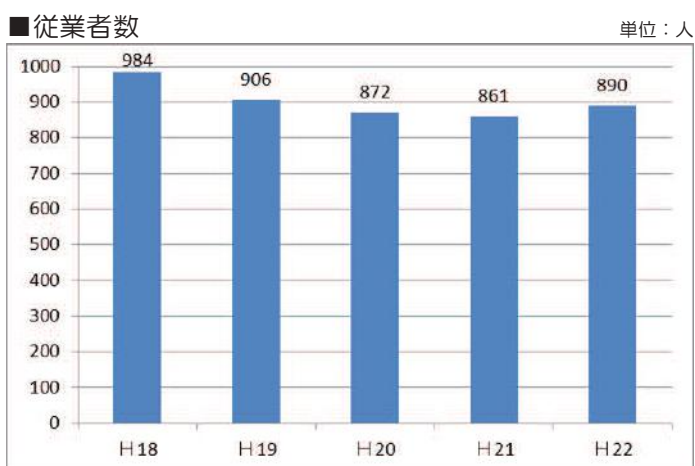


3) 工業（震災前）

- ・工業系の事業所数及び従業者数において、緩やかではあるが減少傾向にある。
- ・工業に係る主な企業として、3社が立地している。



資料：福島県企画調整部統計調査課「福島県の工業」



資料：福島県企画調整部統計調査課「福島県の工業」



工場の様子（有限会社松川製作所）



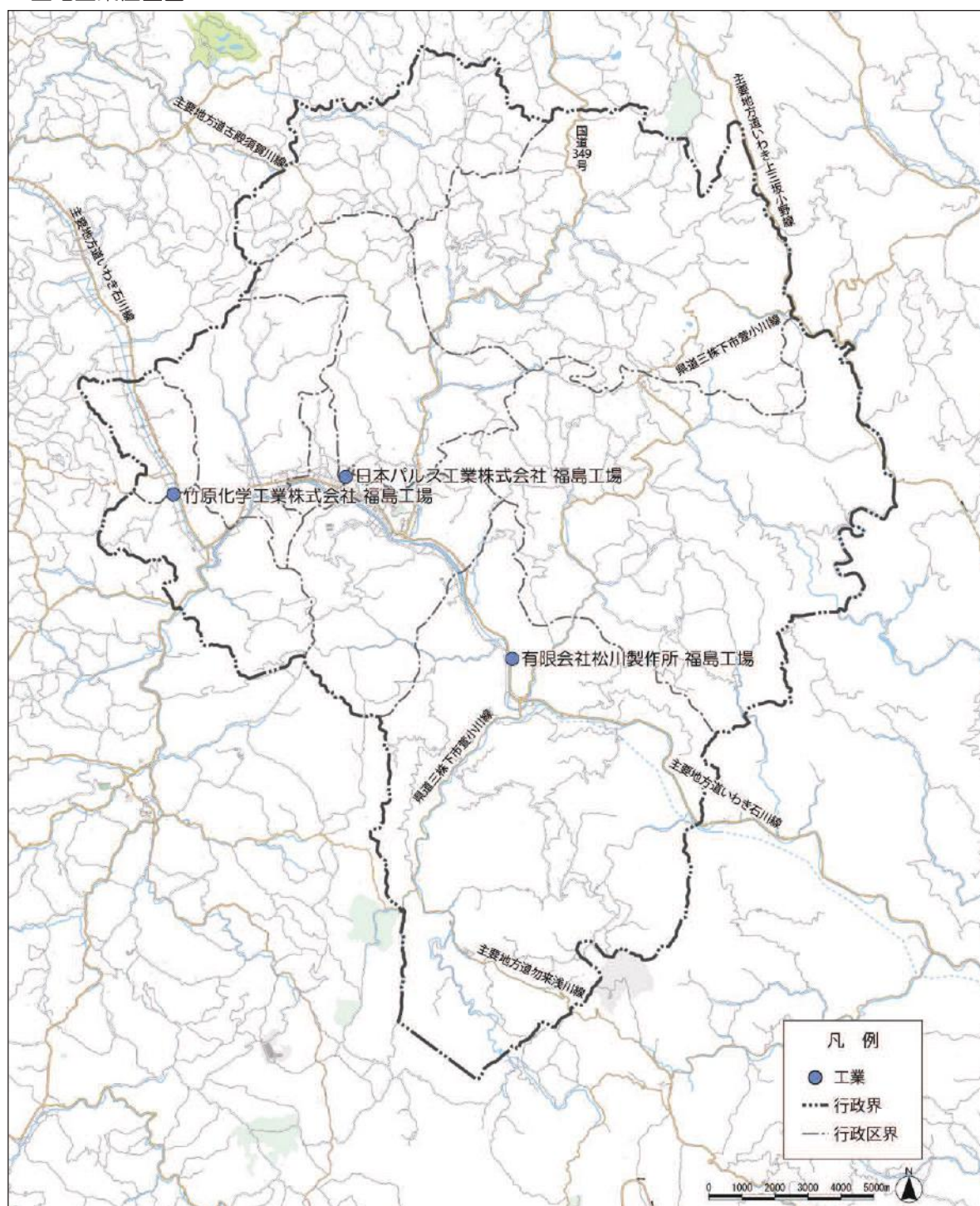
工場の様子（竹原化学工業株式会社）

出典：「Google Map」

■工業に係る主な立地企業

会社名	資本金	町内の事業所	住所	業務内容	従業員数
竹原化学工業株式会社	3,500万円	福島工場	大字鎌田 字竹ノ内 18	・重質炭酸カルシウムの粉砕（石灰石）輸入原料の粉砕及び加工	福島工場：16人 企業全体：185人
日本パルス工業株式会社	2,500万円	福島工場	大字山上 字宮前 350-2	・インバーションソフ、高耐圧DC-DCコンバータ、IGBT&MOSFETゲートドライバー、高周波高圧トランス&高圧発生ユニット、パルストランスの開発・製造・販売	福島工場：25名 （平成24年12月末時点）
有限会社松川製作所	3,000万円	福島工場	大字松川 字前木162	・主な製品：超硬合金・スチール金型製造部品、セラミック精密加工・切削工具一式	45名

■立地企業位置図

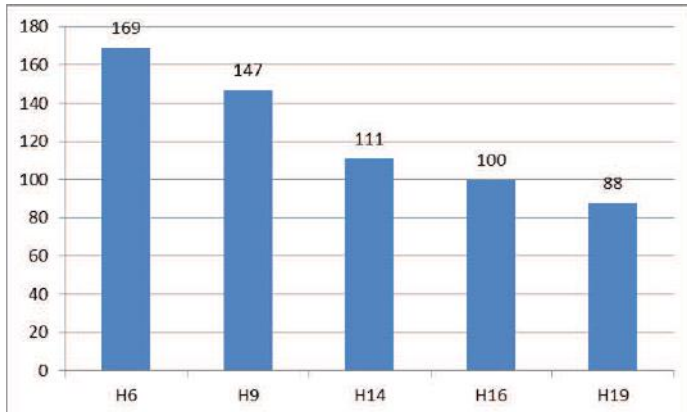


4) 商業（震災前）

- ・平成6年以降、商業店舗数は急速な減少傾向にあり、それに伴い年間商品販売額も減少傾向にある。
- ・商業関連の主な企業として、2社が立地している。

■店舗数（卸売業・小売業）

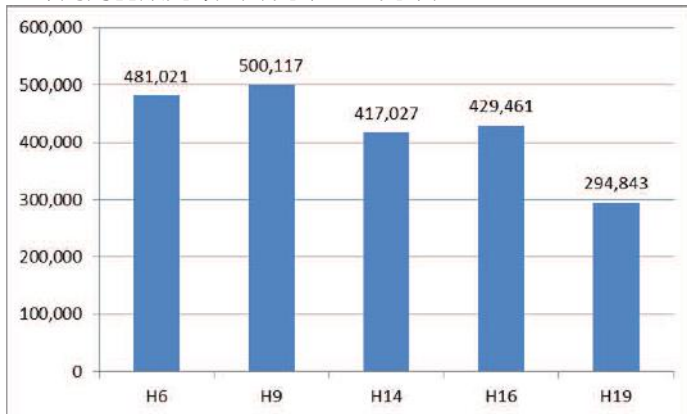
単位：店



資料：福島県統計調査課「商業統計調査結果報告書」

■年間商品販売額（卸売業・小売業）

単位：円



資料：福島県統計調査課「商業統計調査結果報告書」



地元特産品等を取り扱うおふくろの駅の様子



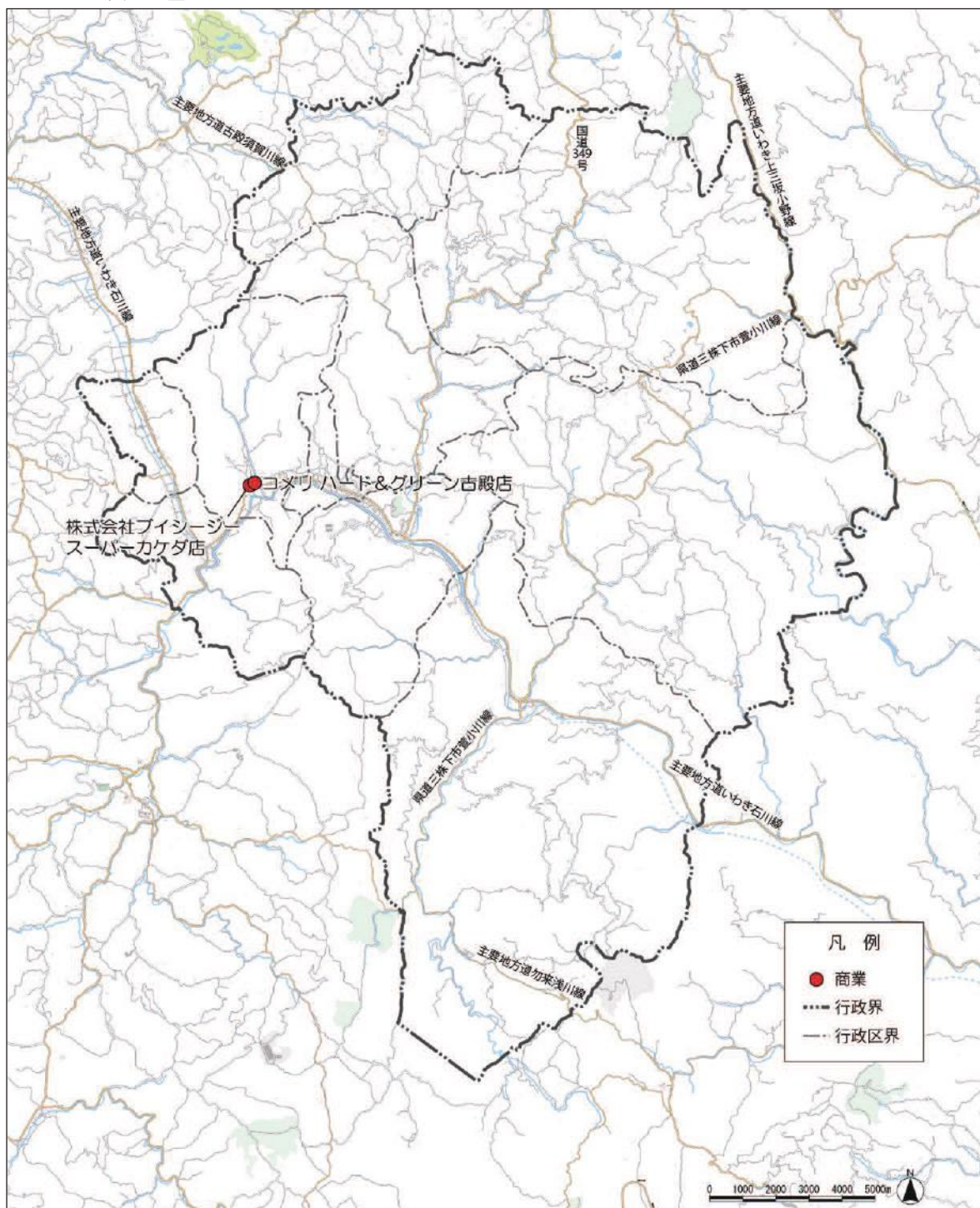
商業施設の様子（株式会社コメリ）

出典：「Google Map」

■主な立地企業

会社名	資本金	町内の事業所	住所	業務内容	従業員数
株式会社コメリ	188億200万円	ハード&グリーン古殿店	田口40-2	・ホームセンターおよびハード&グリーンのチェーンストア経営	企業全体：11,601名（平成25年3月期）
株式会社ブイシージー	2億1,000万円	スーパーカケダ店	大字田口字山下88	・食料品を主体としたスーパーマーケットチェーンブイチェーンの経営	企業全体：51名（平成25年7月）

■立地企業位置図



(4) 観光

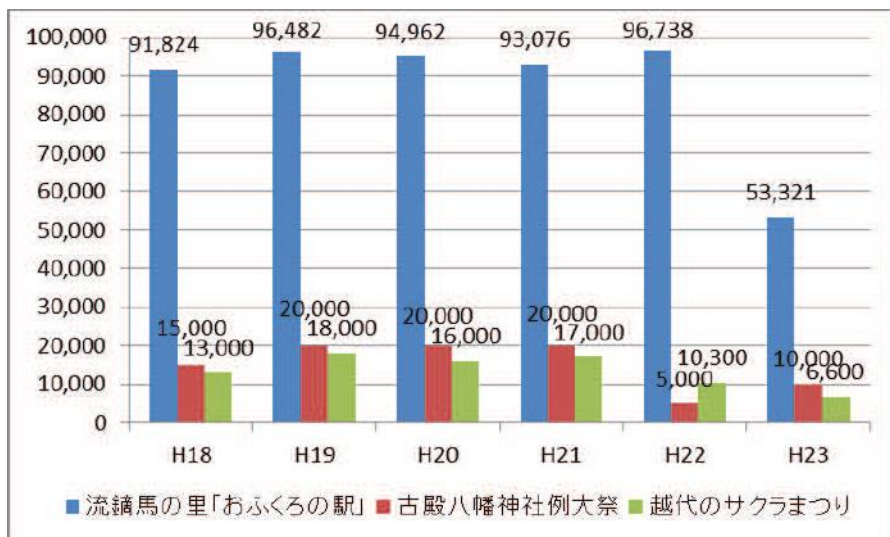
- ・古殿町には笠懸・流鏑馬をはじめとした伝統芸能や県の天然記念物に指定されている越代の桜、たくさんの清水があるなど、豊かな観光資源を有している。
- ・震災前では、平成22年の古殿八幡神社例大祭及び越代の桜まつりの入込数が減少しているが、それ以外については、大きな変動は見られない。
- ・震災後では、古殿八幡神社例大祭は前年より多くの集客があったものの、流鏑馬の里「おふくろの駅」と越代の桜まつりは、前年を大きく下回る集客となっている。
- ・特に、平成22年には年間約9.7万人の集客のあった流鏑馬の里「おふくろの駅」については、平成23年の集客は約5.3万人と前年比の約55%と大きく減少している。
- ・その他のイベントとして、越代の桜周辺をコースとする、ふるどの自転車ロードレース大会が平成24年から行われている。

■観光ガイドマップ



■主な観光施設・イベント観光客入込状況

単位：人



資料：福島県観光交流課「福島県観光客入込状況」



古殿八幡神社例大祭の流鏝馬



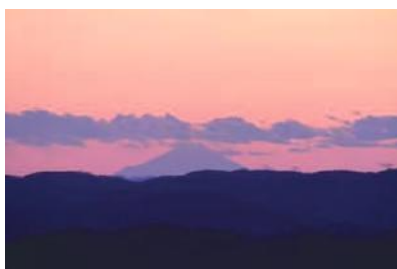
越代の桜まつり



おふくろの駅



鎌倉岳



三株山（富士山の眺望）



芝山



大風川渓谷



大網庵



チェーンソーアート



大網庵の清水



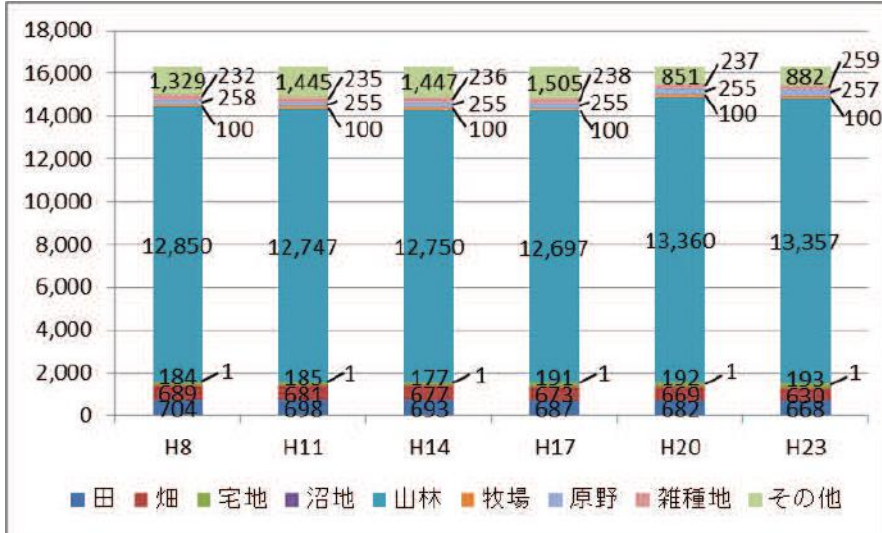
如信上人 大網遺跡

(5) 土地利用

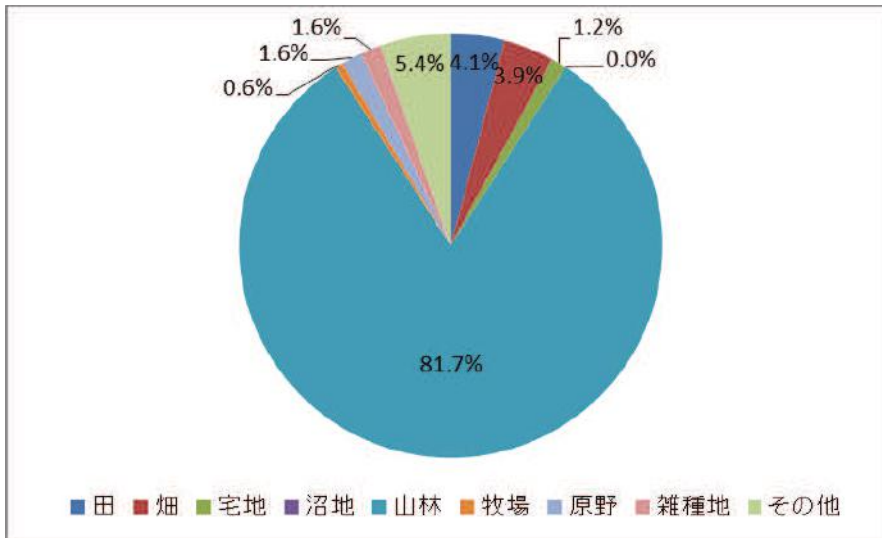
- ・山林が81.7%を占めており、次いで、田4.1%、畑3.9%となっている。
- ・平成17年まではほとんど変化は見られなかったが、平成17年以降、山林が増加している。

■地目別土地面積

単位：ha



資料：町住民税課「固定資産概要調書」

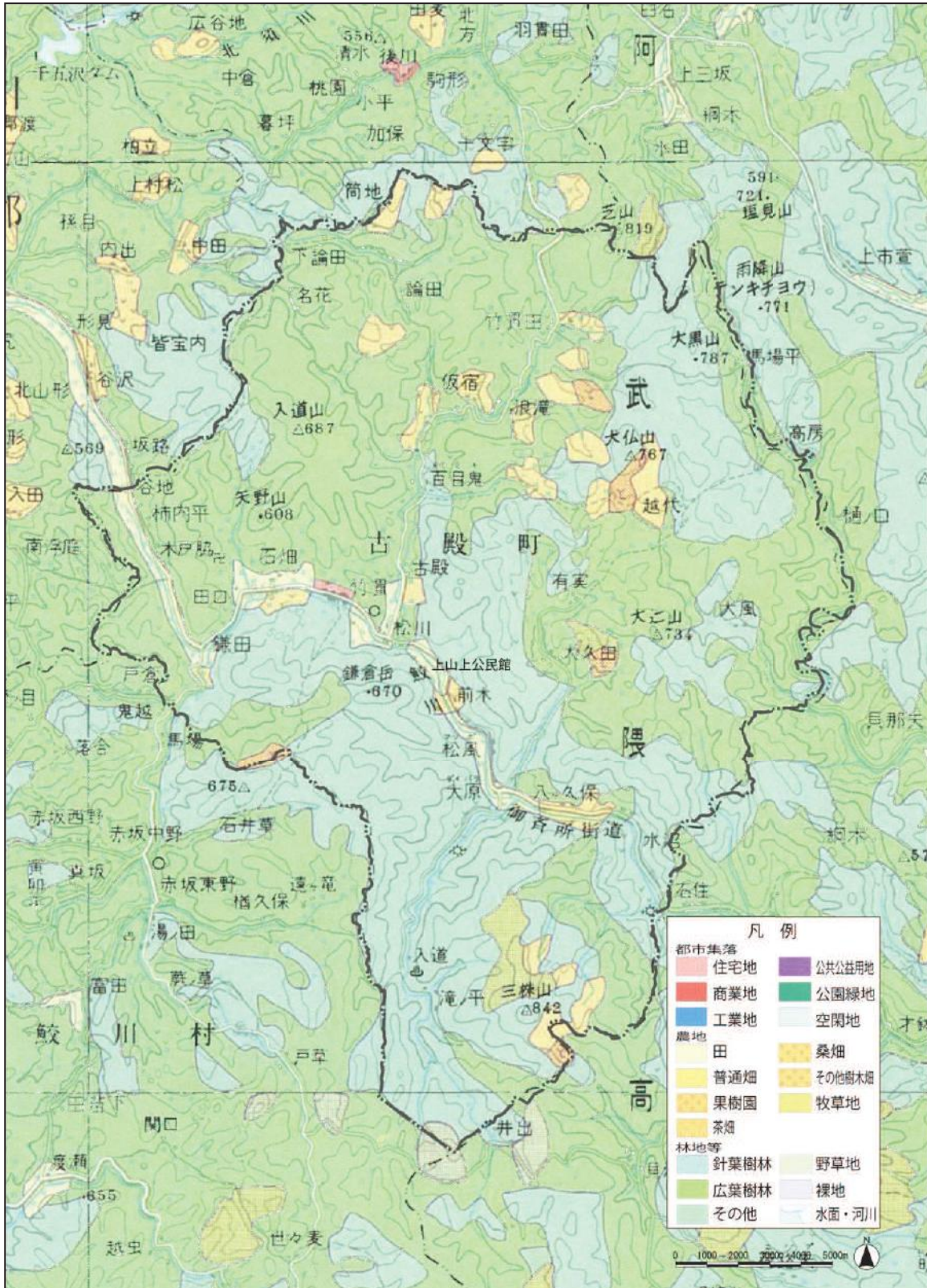


資料：町住民税課「固定資産概要調書」(H23)



- ・山林のうち、広葉樹林が町北部に、針葉樹林が南部に広く分布している。
- ・田は鮫川とその支流の組矢川、大平川に沿って分布している。
- ・牧草地は三株山、芝山、大辻山等に分布している。

■土地利用図



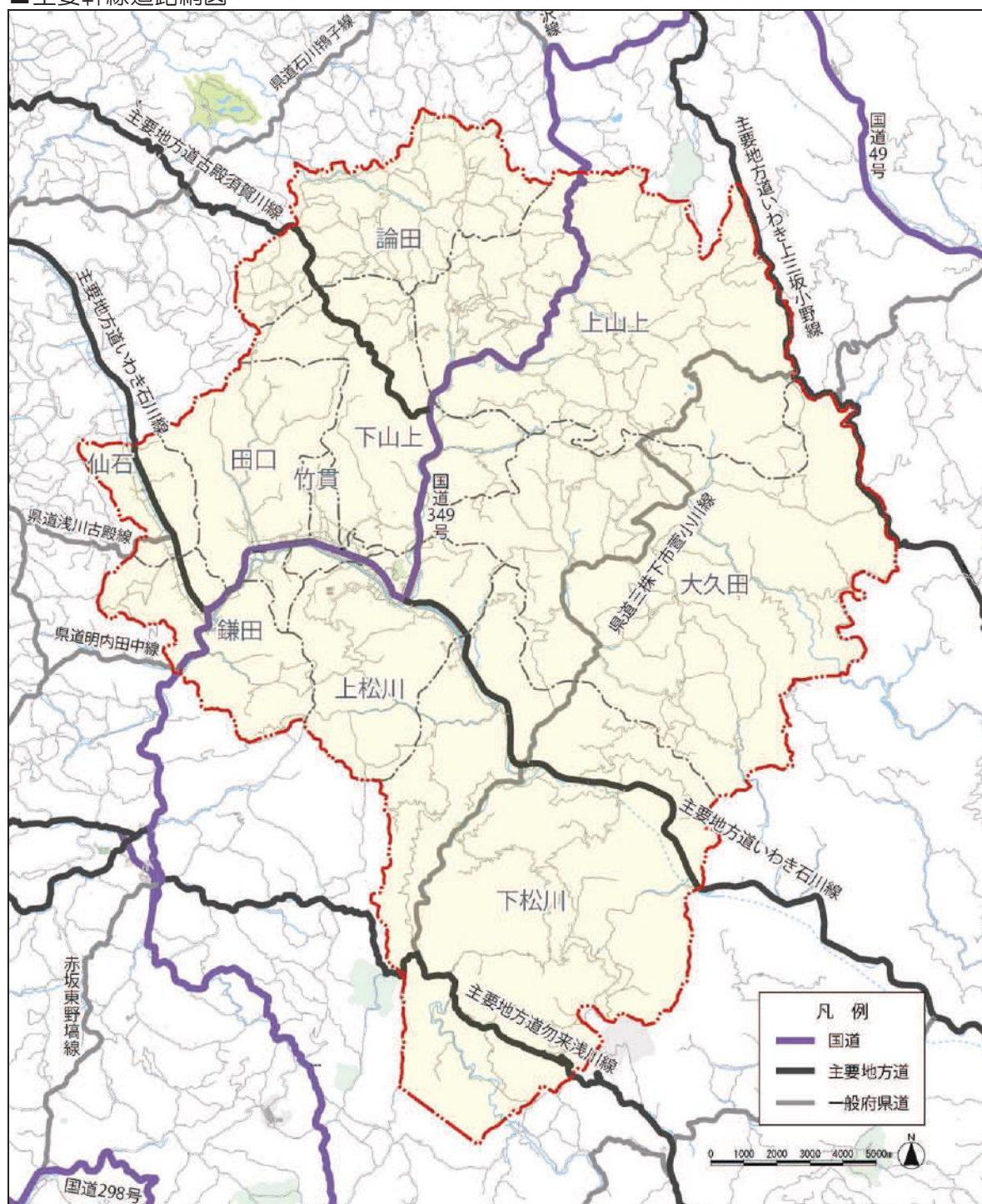
資料：「20万分の1 土地利用図（1980～1983）」国土地理院

(6) 道路・交通

1) 道路

- ・基幹道路として、南北に縦断する国道 349 号及び東西に横断する主要地方道いわき石川線の 2 路線がある。
- ・県道として、古殿須賀川線、三株下市萱小川線、勿来浅川線、いわき上三坂小野線、浅川古殿線の 5 路線があり、地域の産業、緊急医療等に関し、重要な役割を果たしている。
- ・町道は、1 級町道が 5 路線、2 級町道が 10 路線、その他の町道として 176 路線があり、町内の各道路を結び、道路網を形成している。

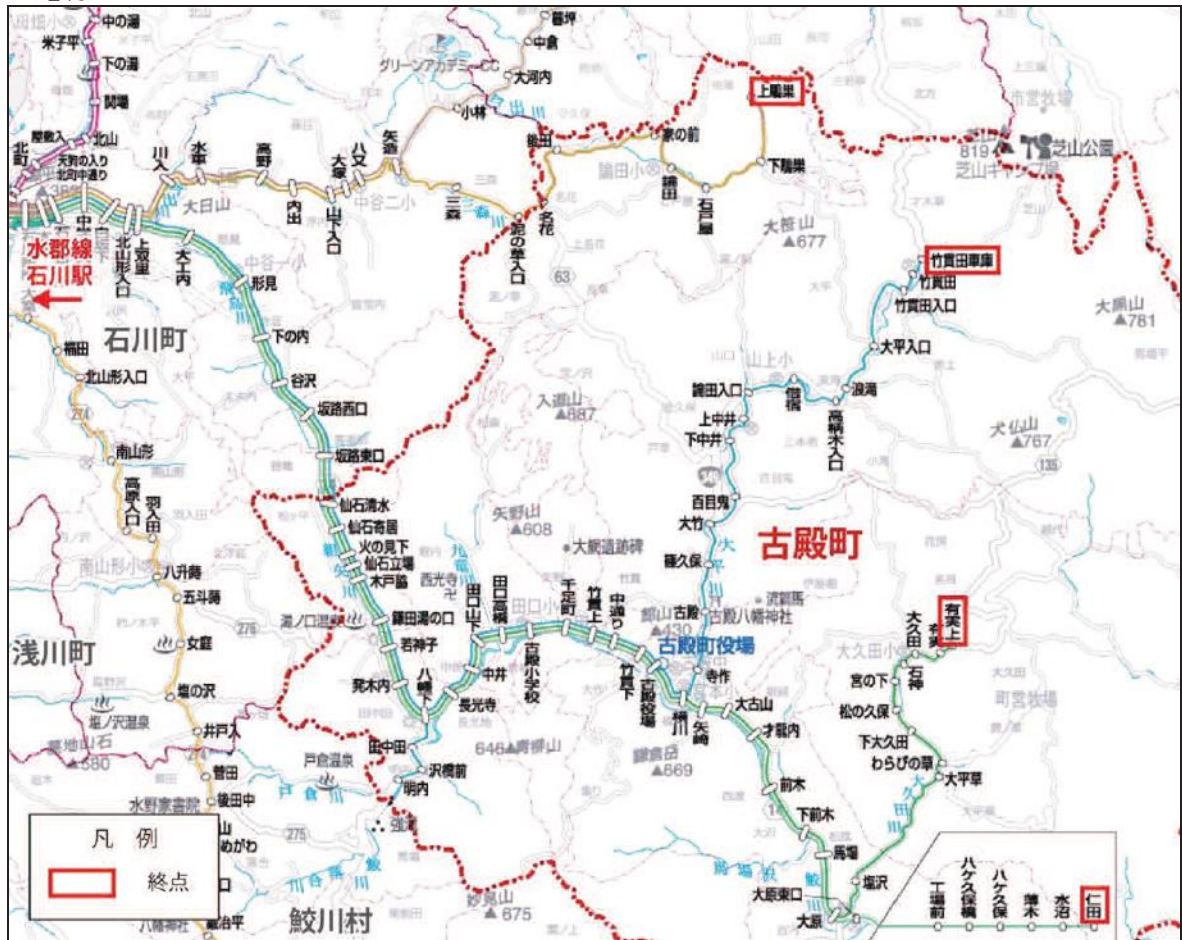
■主要幹線道路網図



2) 公共交通

- ・町内には鉄道はなく、公共交通機関としては路線バスと福祉バスがある。
- ・路線バスは、水郡線石川駅と町内の各施設を結ぶ計4路線がある。
- ・福祉バスは、公民館や健康管理センター、古殿クリニック、町役場、いきいき遊里工房、おふくろの駅などのまち中心部と各集落を結ぶ計7コース及びまち中心部を回る循環バスがある。

■路線バス



資料：資料：福島交通 HP のデータを加工

■福祉バス

施設名	運行日	便数	コース
① 大久田コース	月、木	1	蕨ノ草⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
② 上山コース	火、金	1	才木草⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
③ 論田コース	月、水	1	戸草 ⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
④ 滝ノ平コース	火	1	美沢 ⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
⑤ 高房馬場平コース	水	1	天吾 ⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
⑥ 仁田コース	木	1	仁田 ⇄まち中心部 (公民館⇄おふくろの駅)
⑦ 仙石鎌田日口コース	金	1	広沢 ⇄まち中心部 (おふくろの駅⇄公民館)
- 町内循環	月～金	1	公民館⇄おふくろの駅

資料：「福祉バス運行時刻表」古殿町福祉協議会

(7) 公共施設

- ・町中心部である上松川に、町役場、交流・集会施設、教育施設、体育施設、福祉施設等が集積している。
- ・地域の人が集まることのできる交流施設や集会施設については、各行政区に1箇所立地している。
- ・教育施設は、小学校が平成22年度に合併され、現在は古殿町小学校（田口）1校のみであり、その他、古殿中学校、ふるどのこども園がある。
- ・体育施設は、被災した町民第1体育館（上松川）をはじめ、町民第2体育館（鎌田）、古殿町民水泳プール（上松川）、屋内ゲートボール場（上松川）等、6施設が立地している。

■交流・集会施設

施設名	
1	古殿町公民館
2	上松川集会センター
3	竹貫集落センター
4	田口集落センター
5	鎌田地域農業推進拠点施設
6	旧鎌田小学校資料館
7	仙石多目的集会センター
8	論田生活改善センター
9	上山婦人・若者等活動推進施設
10	上山公民館
11	下山上多目的集会センター
12	大久田多目的集会センター
13	大久田ふれあいセンター
14	高房転作促進技術研修センター
15	馬場平地区伝統文化伝承施設
16	越代集会センター
17	下松川構造改善センター
18	滝ノ平集会所
19	薄木集会センター
20	農業集落多目的集会施設（大網庵）
21	論田ふれあいセンター

■教育関連施設

施設名	
1	ふるどのこども園
2	古殿小学校
3	古殿中学校
4	郷土文化保全伝習施設（ふるさとセンター）
5	高房青少年自然の家

■体育施設

施設名	
1	健康管理センター
2	町民第1体育館
3	町民第2体育館
4	古殿町民水泳プール
5	町勤労者体育センター
6	屋内ゲートボール場
7	町民運動場
8	女性若者等活動促進施設

■福祉施設

施設名	
1	介護予防拠点施設（いきいき遊里工房）
2	老人デイサービスセンター
3	在宅介護支援センター

■その他

施設名	
1	農業水産物直売食材供給施設（おふくろの駅）
2	旧古殿中学校寄宿舎
3	三株高原広場
4	自然資源等活用型交流促進施設（三株山展望台）
5	芝山緑地休養施設
6	流鏝馬広場



古殿町公民館等



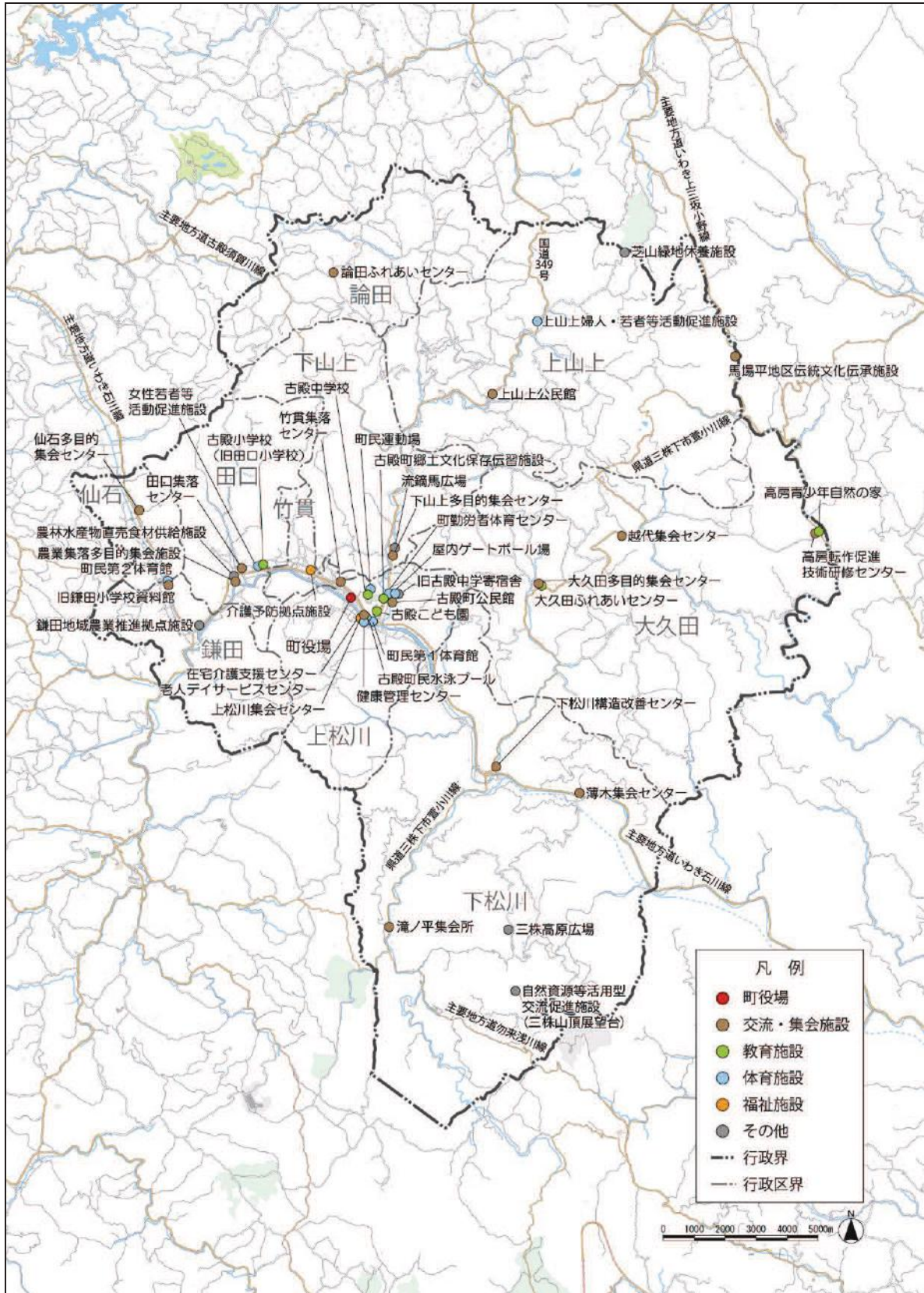
ふるどのこども園



三株山展望台

- ・福祉施設は、老人デイサービスセンター（上松川）、在宅介護支援センター（上松川）等、3箇所立地している。その他、廃校後の小学校を利用し、民間の福祉施設が1箇所（大久田）立地している。

■公共施設位置図

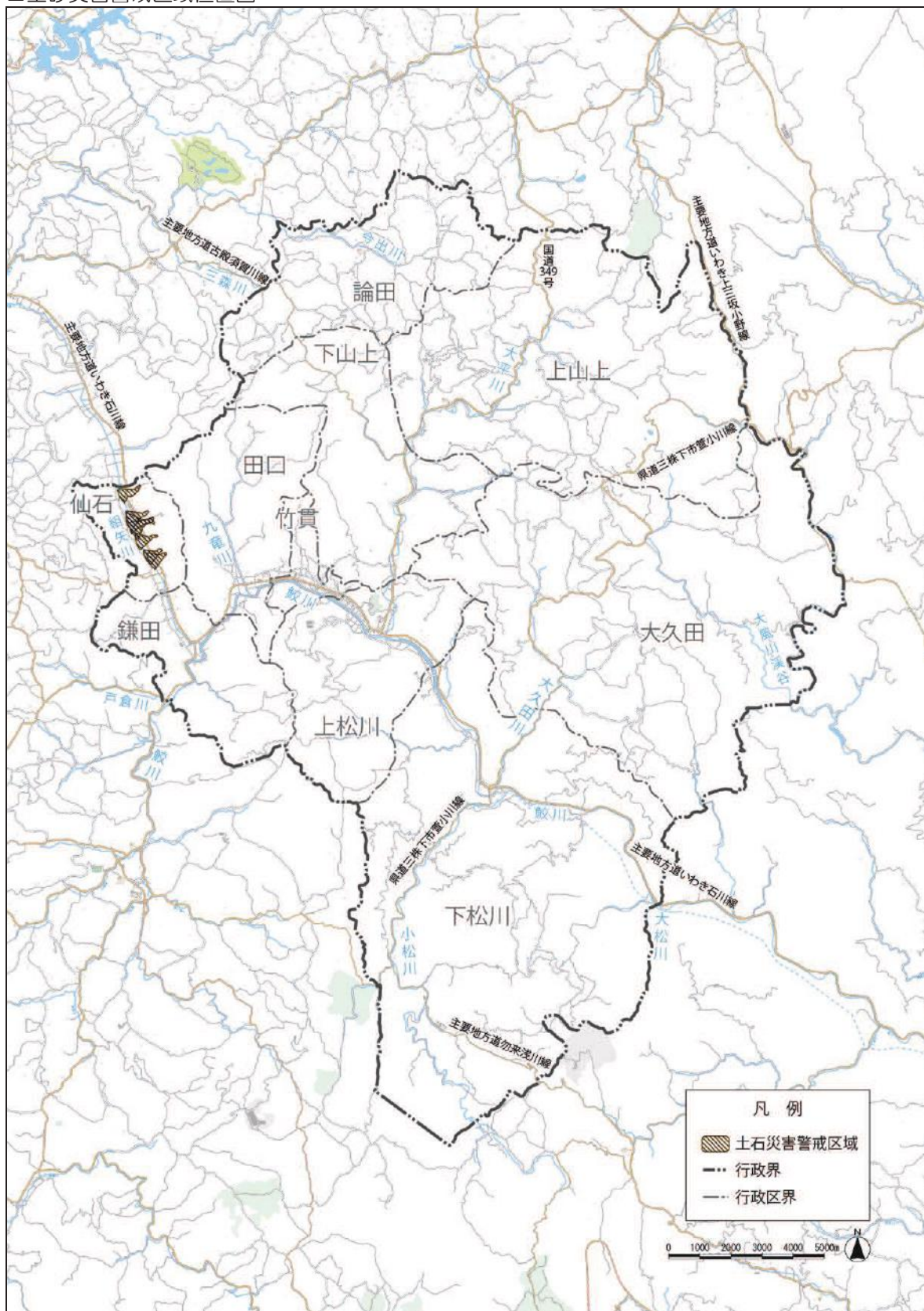


(8) 土砂災害等危険箇所

1) 土砂災害警戒区域

- ・仙石地区を流れる組矢川の東側に7箇所あり、土石流危険渓流箇所の密集するエリアが警戒区域として指定されている。

■土砂災害警戒区域位置図

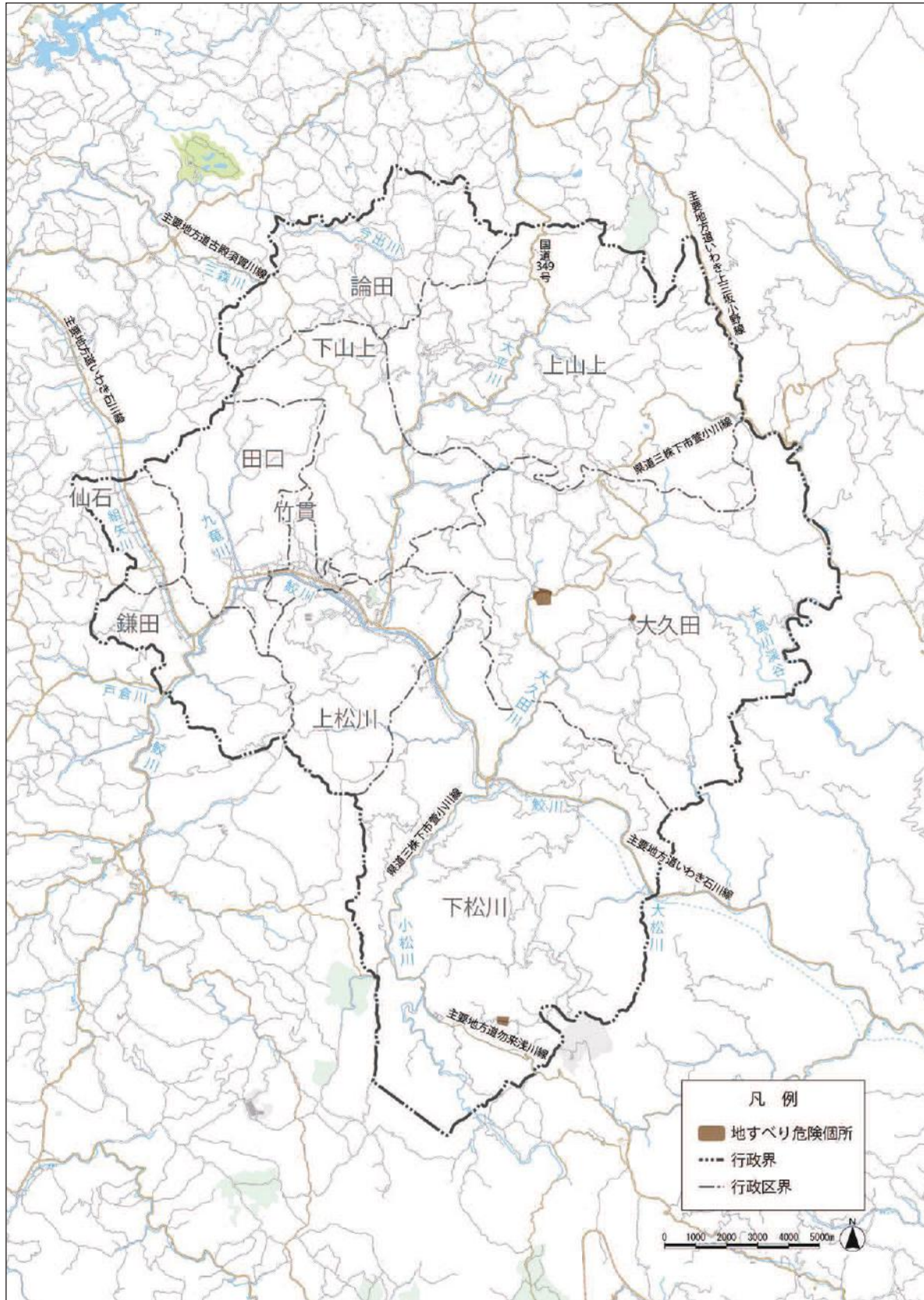


資料：古殿町資料

2) 地すべり危険箇所

・大久田地区に2箇所、下松川地区に1箇所ある。

■地すべり危険箇所位置図

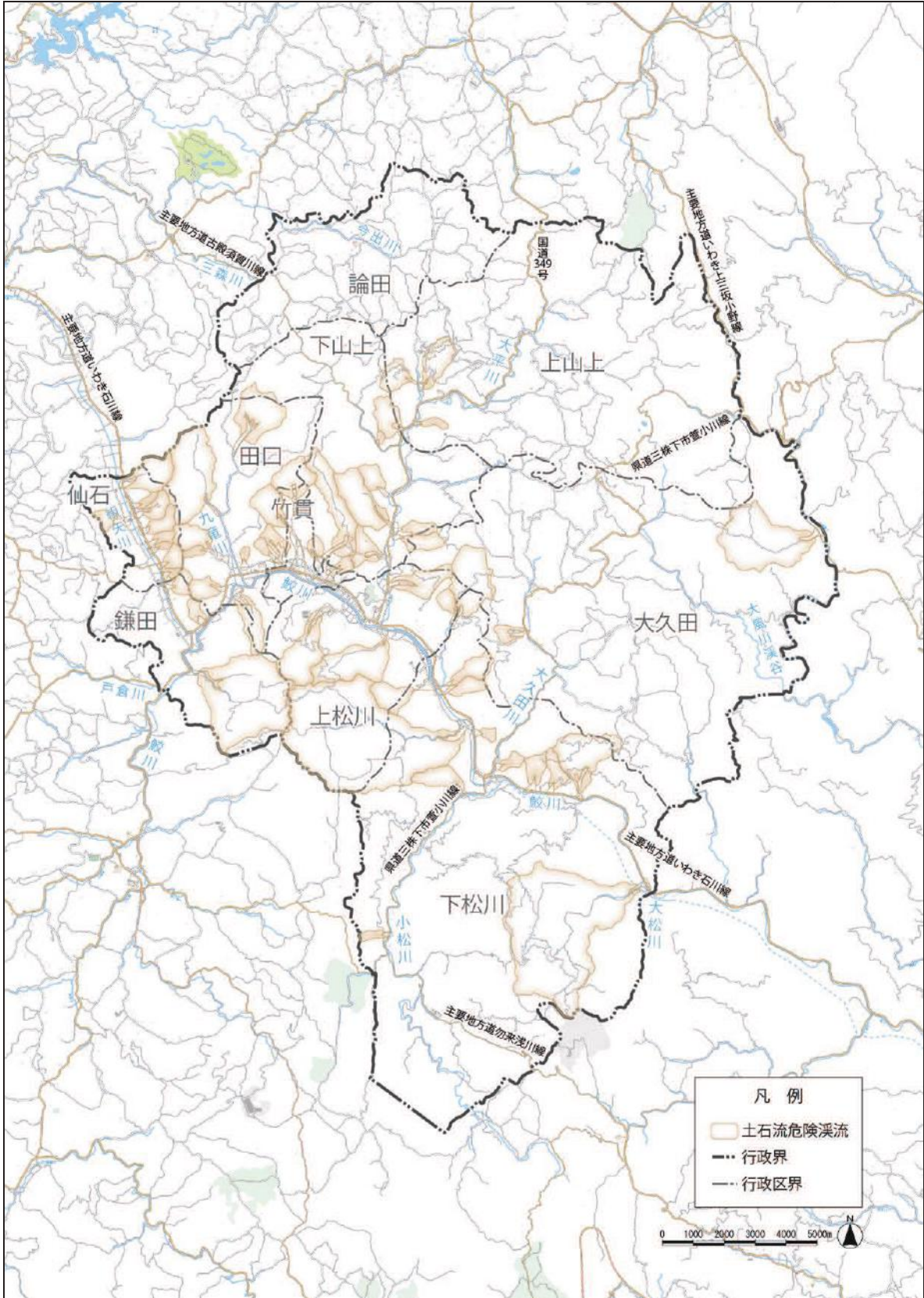


資料：古殿町資料

3) 土石流危険溪流箇所

- ・主に町の中央から西側の川沿いのエリアに土石流危険溪流箇所が多く分布している。

■土石流危険溪流箇所位置図

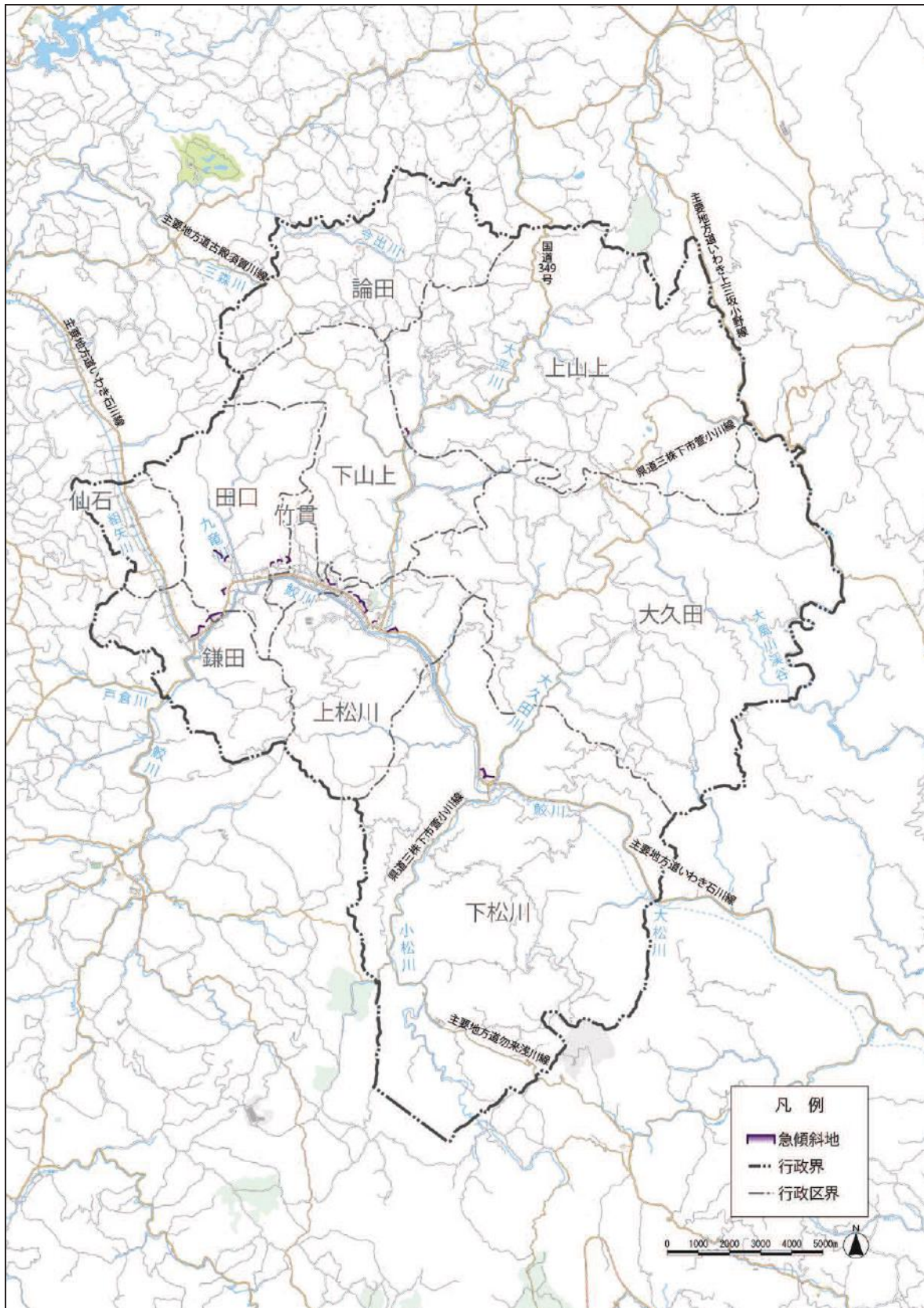


資料：「土砂災害危険箇所図」福島県

4) 急傾斜地危険箇所

- ・町の中央部を流れる鮫川沿いに分布しており、特に町の中心部である田口地区と上松川地区に多く分布している。

■急傾斜地危険箇所位置図

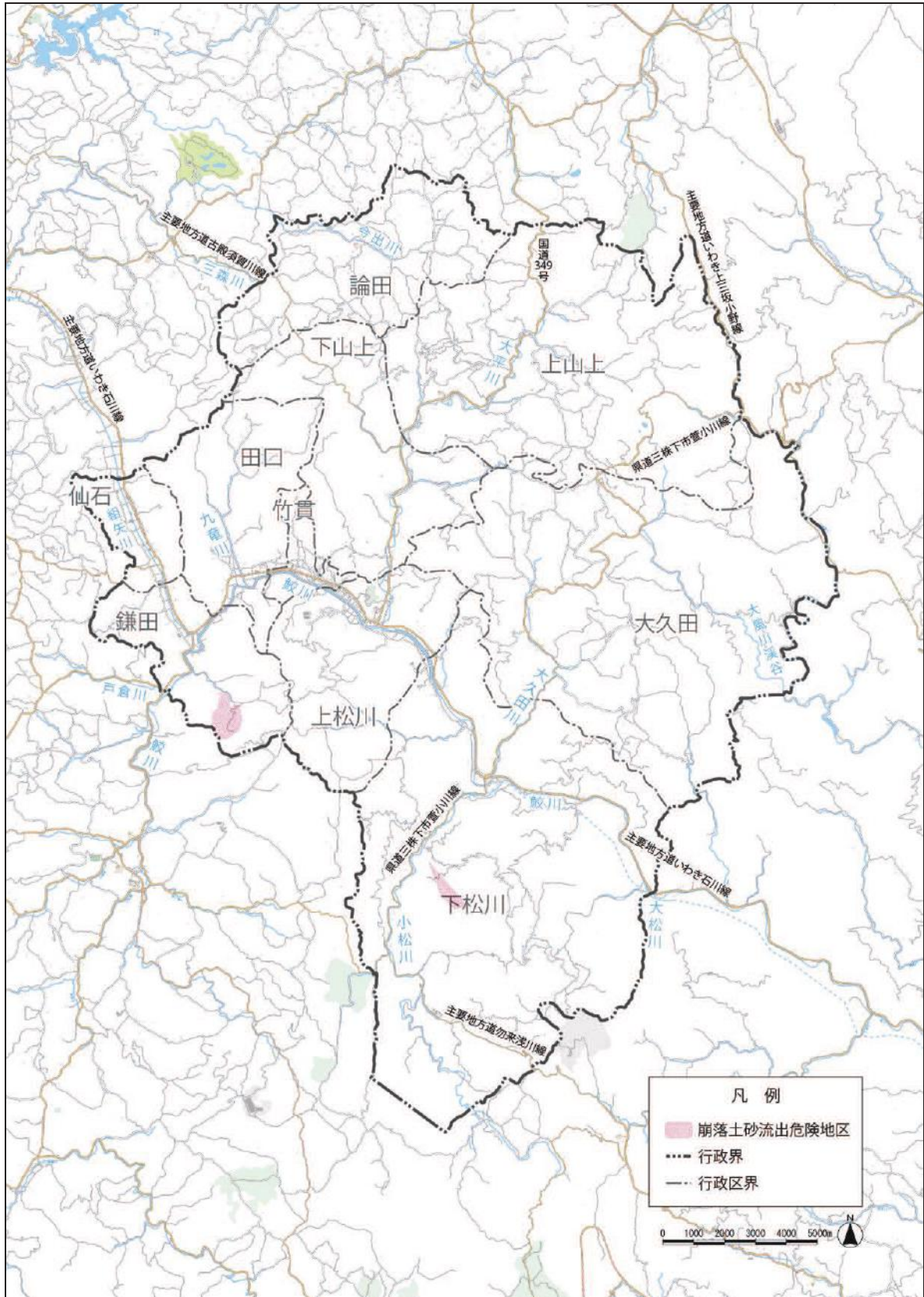


資料：古殿町資料

5) 崩落土砂流出危険地区

- ・ 鎌田地区と下松川地区に各1箇所ある。

■ 崩落土砂流出危険地区位置図

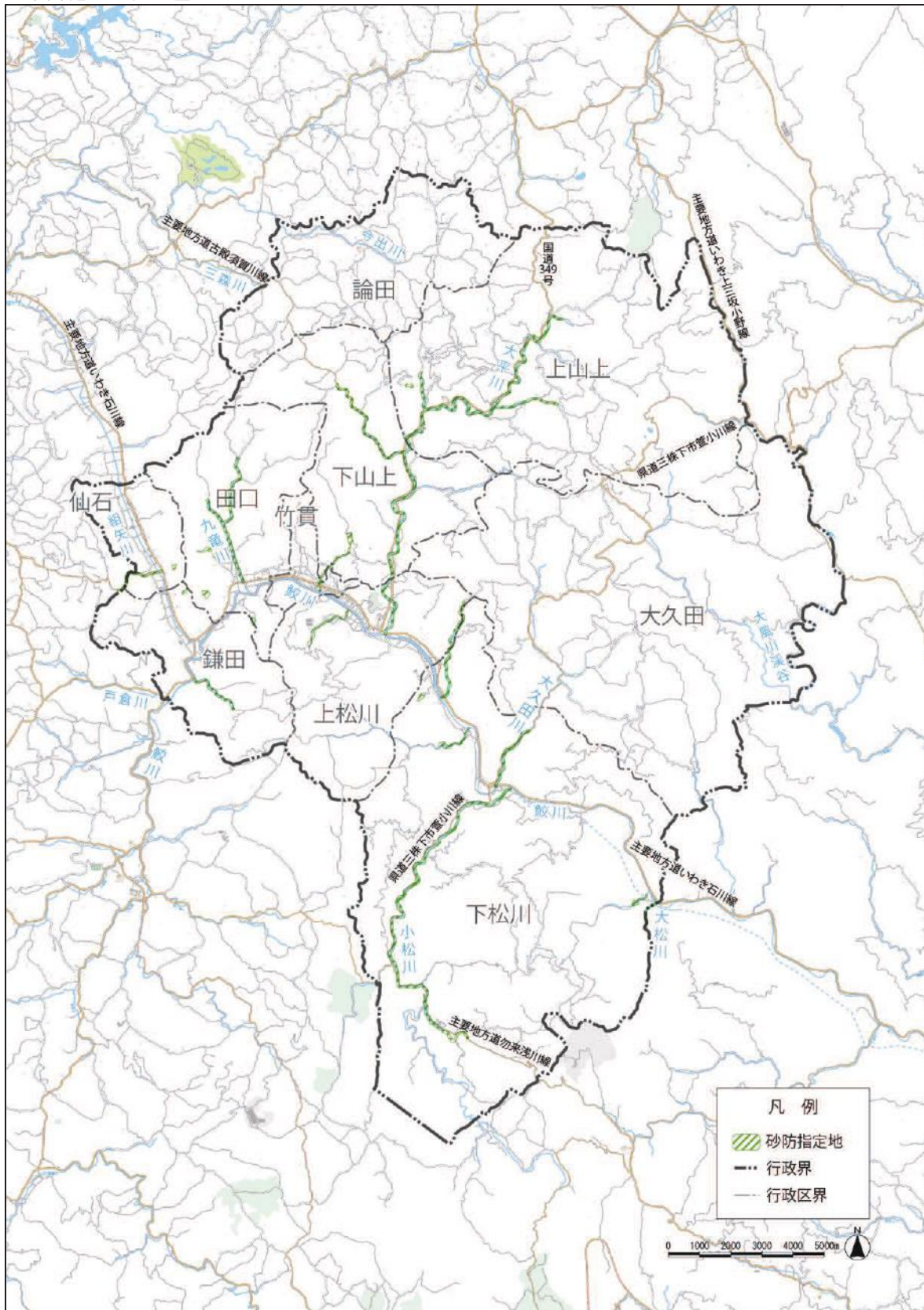


資料：古殿町資料

6) 砂防指定地

- ・主に、田口地区を流れる九竜川、国道 349 号沿いに流れる大平川、県道三株下市萱小川線沿いを流れる大久田川と小松川沿いといった鮫川支流に砂防指定地が分布している。

■砂防指定地位置図

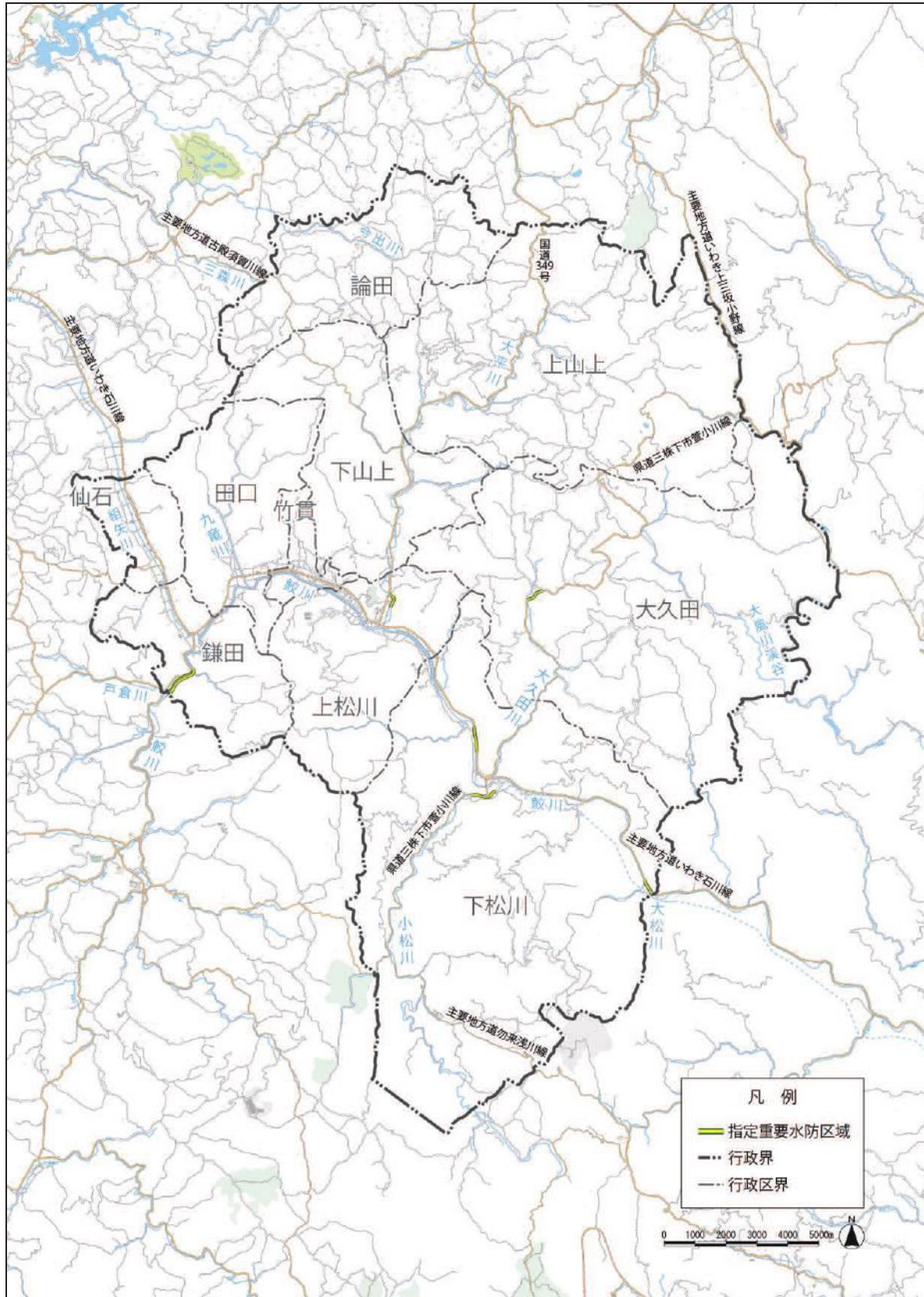


資料：古殿町資料

7) 指定重要水防区域

- ・町の中央部に4箇所と西部に1箇所あり、鎌田地区を流れる鮫川は両岸が指定されている。

■指定重要水防区域位置図

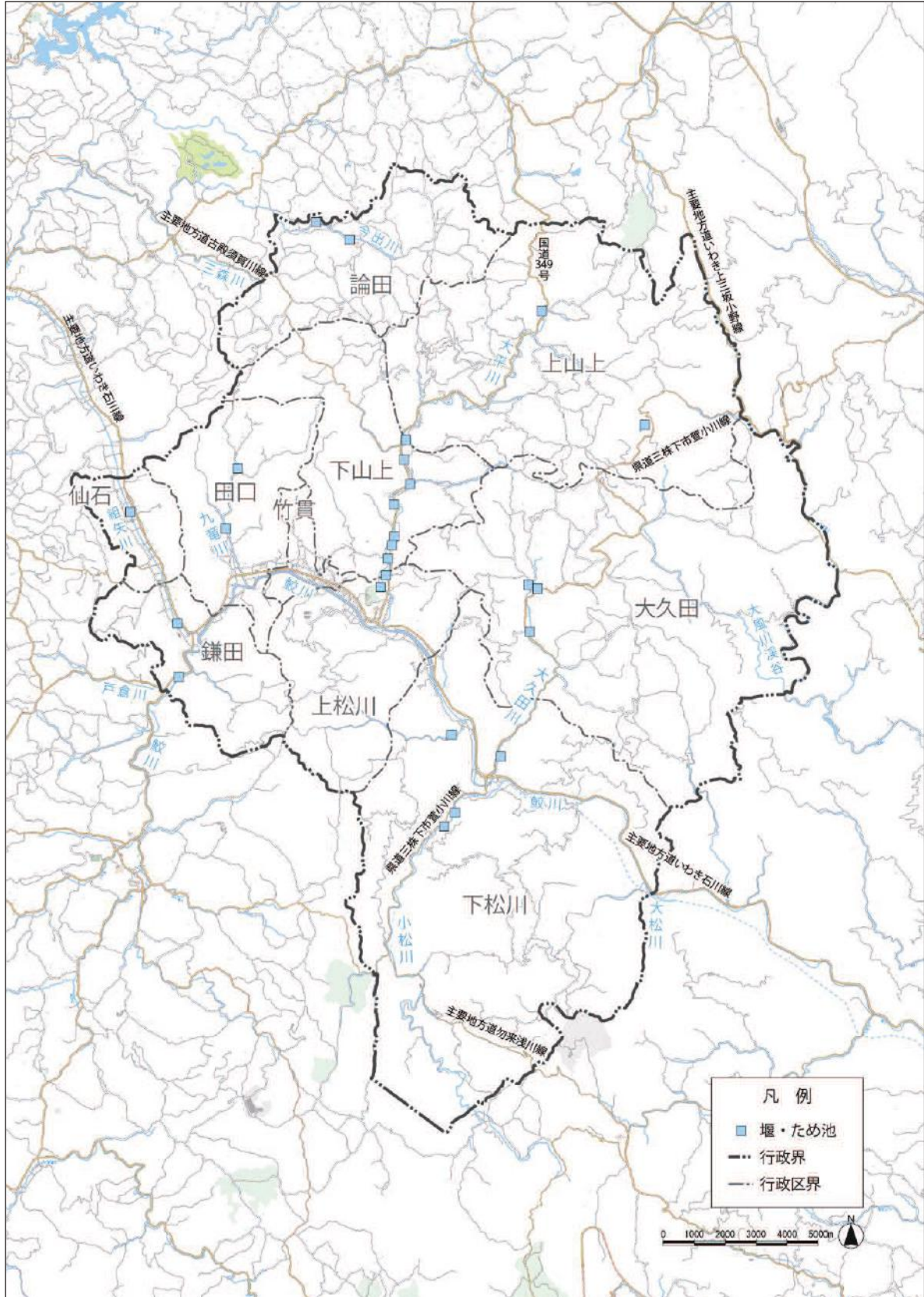


資料：古殿町資料

8) 堰・ため池

・町の東部と南部以外は河川沿いに広く設置されており、特に大平川沿いは9箇所も設置されている。

■ 堰・ため池位置図



資料：古殿町資料

(9) 住民意向

1) 区長会での意見聴取

■現在の避難所等について	
仙石区長	<ul style="list-style-type: none"> ・仙石多目的集会センターの沢、裏の墓地等は急傾斜地になっていると県より言われた。危険な場所を指定避難所としていて良いのか。 ・指定するのであれば、裏の傾斜地を整備してほしい。 ・仙石地区内は全て危険な場所であり、今のところどうしてほしいということではない。
鎌田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地の工事は済んでいるが、鎌田地域農業推進拠点施設は急傾斜地の近くに立地している。
上山区長	<ul style="list-style-type: none"> ・上山公民館、上山婦人・若者等活動促進施設は避難所として問題ない。
田口区長	<ul style="list-style-type: none"> ・3.11の震災時、田口区においては町民2組が田口集落センターに避難した。台風による大雨の時についても、門前川の堰の土砂をさらっておいたので決壊しないで済んだ。 ・震災等過去において、特別被害を受けているようなところはない。
竹貫区長	<ul style="list-style-type: none"> ・竹貫集落センターは集落の一番端にあるため、今後も古殿保育所を避難所として使わせてもらえると良い。
論田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・震災時、論田ふれあいセンターはひび割れ等の被害を受けたが、補修をしてもらい問題ない。古殿幼稚園論田分園、旧校舎も問題ない。
大久田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大久田小学校は民間施設として利用されており、常時50人くらいの方がいるようで、避難所としては使えないので見直した方が良い。 ・大久田地区の公共施設として、大久田多目的集会センター、大久田ふれあいセンター、越代集会センター、高房転作促進技術研修センターがあり、分散してしまうが通行止め等の可能性があることを考えると、身近な公共施設を避難所として使うのが良いのではないか。 ・現在の公共施設の建物を壊すことも移転することも難しいと思うので、治山工事等で対応するしかない。 ・大久田多目的集会センターの建物については、古いので建て替えたいという要望は出ている。
上松川区長	<ul style="list-style-type: none"> ・震災時、上松川集会センターは壁や水道施設の被害等を受けた。現在も水を大量に使うと床に水が上がってくる。床をはがしてみないとわからないが、地震でだめになっているのではないか。
下松川区長	<ul style="list-style-type: none"> ・滝ノ平集会所は避難所として使っても良いと思う。 ・下松川構造改造センターは後ろが崩れなければ大丈夫である。

■災害の状況、課題等について	
鎌田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・発木内堰において、土砂が堆積していたため集中豪雨で水位が上がったところがある。組矢川の増水対策として、堆積した土砂を整備してほしい。
上山区長	<ul style="list-style-type: none"> ・3.11の震災時には大きな災害はなくて良かったが、大平川は途中川幅が狭く、流れも急な場所が何か所か見られる。できるだけ早めに整備してもらいたい。
竹貫区長	<ul style="list-style-type: none"> ・18号台風により、竹貫古殿線の三森建設の前が冠水したり、近くの住宅も床下浸水した。 ・以前、川入りの砂防ダムの計画があったが、その計画を再検討することはできないのか。 ・千足地内の道路冠水については対策をお願いしたい。
論田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の台風の際に今出川の氾濫により、2、3箇所土砂崩れがあった。河川の復旧をお願いしたい。
大久田区長	<ul style="list-style-type: none"> ・3.11は水が溢れ、4.11は水が無くなってしまった。また、給水施設が被災し、水の確保が大変であった。 ・10/15、16の大雨で、U字溝がつまり、路肩が4箇所決壊した。早めに復旧してほしい。
上松川区長	<ul style="list-style-type: none"> ・台風18号により、古殿堰に土砂が堆積してしまう等の被害があり、何とかしてもらいたい。
下松川区長	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の大雨で山から水が出て、広い範囲で道路のヒューム管、側溝がつまる等の被害があった。対策をしてほしい。
■その他について	
上山区長	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ひとりで避難する人もいる。そのような人に対し、避難の際に注意するような呼びかけを町からも行ってほしい。